

お母さんのやさしさは本物がしら!?

今回、四日市の小学生を中心にアンケートを行いました。親同士の井戸端会議が少なくなり、よそのうちの子は、どんなことを感じているんだろう、どんなものを食べているんだろう、ということを知りたくなったからです。編集のボランティアたちで手分けをし、子どもたちの声を聞きました。

アンケートでは、子どもたちは、お母さんの優しいところが好きということが分かりました。でも優しいということはどういうこと? どんな時に、どんなふう言葉がかけられたり、どんなふう接してもらったりした時に優しいと感じるのだろうか。アンケートでは、そこまで踏み込めませんでした。ただ、「お母さんに望むことは?」という問いに対して「私を認めてほしい」という答えがあり、印象に残りました。あなたは、あなたのままでいいと子どもを信じるこ

それは、なかなか難しいことです。

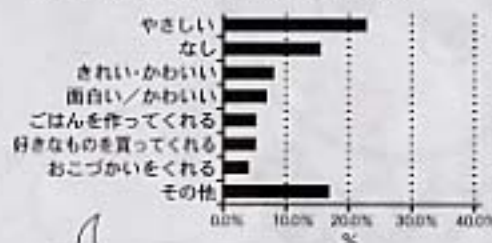
また、数字からは読み取れませんが、お母さんがいなくておばあちゃんが料理をしている、お父さんも料理をするなど、いろいろな家庭の像があるということを感じました。ひとりでごはんを食べている子どももいます。一人、ひとりの家族の状況が違うのですから、こうすべきなどは、とても簡単には言えません。

子どもが帰ってくると、炊きたてのごはんや、湯気あがるシチュー、焼き立てのパンが待っていて、家族がみんな揃う。そんな食卓が理想ですが、各自、各自の現実があります。その、それぞれの食卓のなかで、なるべく、おいしいごはんを食べるには、どうしたらいいのか、どんな工夫をしたらいいのかということに、思いをはせたアンケートでした。

小学生 直撃アンケート

四日市の小学生を中心に(幼稚園4名含む)にアンケートを行いました。質問と結果を掲載します。(有効回答数60)

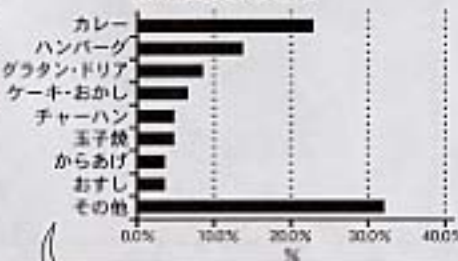
★お母さんの好きなお母さんは?



みんなやさしいお母さんが大好き。



★家族のつくるものでなにがいちばん好き?



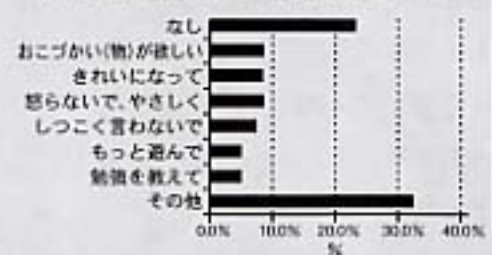
「カレー・ハンバーグ」は、昔から子どもの人気メニューですね。きっとお母さんも子どもの頃、大好きだったのでは? 洋食メニューが多いなかで、もちろん「みそ汁」「肉じゃが」「焼魚」と和食派もありました。

★お母さんのきらいなところは?

「きらいなところ」はやっぱり、「怒る・うるさい・こわい」が全体の60%を占めています。でもその反面、「なし」と答えた人も20%います。



★お母さんにのぞむことは?



「なし」が全体の24%。ということは、1/4が今のままで満足しているということでしょうか。「もっと遊んで」「勉強を教えて」「料理を教えて」「もっと話をしたい」...お母さんとの時間を求める声(16%)は見逃せません。また、「手抜きしないで」「料理上手に」という指摘も、高学年では、「私を認めてほしい」「しようとしている時に先走って言わないで」「ほっといて」という答えもありました。

★あさごはん・ゆうごはんにだれといつしょに食べますか?

食事を子どもが一人で食べる「個食(孤食)」が増えているとマスコミでも取り上げられていますが、今回のアンケート結果をみると「家族のだれかと」朝食をとっている家庭が62.7%。夕食も69%。お父さんはやっぱり忙しいのか「お父さん以外」が朝食では18.6%、夕食では30%。実に全体の8~9割が家族のだれかと食べていることになります。

健康

子どもの発熱

四日市市保健センター/小児科医

長尾康治



病気のときに一番多い症状の「発熱」について簡単に説明しますが、「咳・発熱・下痢など何らかの症状があっても、元気に遊べて食欲もあればとりあえず怖い病気はない!」のです。むしろ、「いつもと様子が少し違うぞ!」といった抽象的な方が重要な情報であったりします。また、自分の子どものことをよく理解してくれる「小児科医」をつくっておくことも大切です。

子どもは体温の調節が大人ほどうまくいきません。汗がでる前は、37.5度ぐらいになることがよくあります。それぐらいなら発熱とは考えず様子を見ましよう。さっきの体温がもし熱の出かけならその後、高い熱になってくるでしょう。

しかし、熱が出たからといって、元気があるのに簡

単に解熱剤を与えたり、すぐお医者さんに走ることはありません。なぜなら、子どもの発熱の原因のほとんどは、特効薬のないウィルス性の病気ですし、解熱剤も病気そのものを治すものではないからです。まず冷静に全身状態(元気さ)を観察することが大切です。ちなみに、このような急性の病気は、安静と十分な水分摂取が治療の第一歩です。特に小さいお子さんは、簡単に脱水(体の水分が不足して症状がさらに悪化すること)になります。水分を充分与えましょう。湯ざまし、番茶、脱水予防の電解質液などを与えるとよいでしょう(調子が悪いときはもどしやすいため、少量ずつこまめに)。



新米ママの奮戦記

はじめまして!2人の子をもつママです。上は4歳の女の子、下は8ヶ月の男の子。「それじゃあ、新米って言うのはおかしい」と言われちゃいそうだけど、あえて新米とつけさせて下さいね。だって、いつまでたっても子育てのプロにはなれそうにもない悩み多きママなのです。その中で、いま一番困っているのは下の子がほとんどお昼寝をしてくれないこと。

毎朝7時ごろ起きたあと、上の子を保育園へ送る車中で約30分、午後は3時すぎに30分くらいお昼寝をするだけ。あとはほとんどバッチリ起きていて、目がはなせなくて家事をこなすのも大変。少し前まではおんぶ生活(お昼ごはんを食べるときも、もちろんトイレはがまん、がまん……)で、何とかしていたけど、夏は暑さで背中とおなかにアセモができるくらい汗だくになるし、もうこの方法もつかえず、今はほとんど困ってます。そのうえ、いまだに夜、何回も起きるんだもの、どうしたらいいのかな。

みなさんもこんな経験されましたか?何かよい方法をご存知の方、またそのほか子育ての悩みやアドバイスなど、お待ちしております。

たすけあって、みんなの力でエンジョイ子育て!

わたしの強い味方は、この一冊!

『かみさまからのおくりもの』
樋口 通子 著/こくま社

育児でため息のどるとき、
とても元氣になれます。

